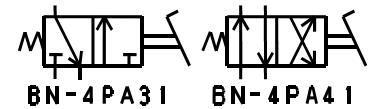


## 取 扱 説 明 書



BN-4PA31 BN-4PA41

## フートバルブ

型番号：BN-4PA31/310/41



BN-4PA310

## 1. 仕 様

呼 び 口 径	8 A	
配 管	IN・OUT	R c 1 / 4
	EX	R c 1 / 8
使 用 流 体	空 気	
使 用 圧 力	0 ~ 0 . 7 M P a	
耐 圧 力	1 . 5 M P a	
踏 込 力	M A X . 3 k g f	
周 囲 温 度	5 ~ 6 0	
有 効 断 面 積	8 mm <sup>2</sup>	
重 量	0 . 7 k g	
オ プ シ ョ ン 部 品	ロ ッ ク 機 構 ・ 保 護 カ バ ー	
図 面	Z - 5 5 9 0 , Z - 5 9 9 4 ( 保 護 カ バ ー の 場 合 )	

## 2. ペタルのポジションと流路

	BN-4PA31	BN-4PA310	BN-4PA41
ペタル解放時	INブロック OUT EX	IN OUT EXブロック	IN O1 O2 EX
ペタル踏込力	IN OUT EXブロック	INブロック OUT EX	IN O2 O1 EX

ロック機構付の場合は、ペタル踏込後ロックされます。

ロックを解除する場合は、ペタルを再度踏込んでください。

### 3 . 取扱い

- 3.1 取付姿勢には制限がありません。
- 3.2 取付は、ボディ底部に設けてある取付ネジ(2-M5)で行ってください。
- 3.3 ペタル操作及び保守点検に便利のように、周囲に余裕空間を設けてください。
- 3.4 配管は、ボディに明示の通り間違いなく行ってください。  
I N = エアは必ずこ I N から接続してください。  
OUT1(01),OUT2(02) = エアアクチュエータとの接続口  
(ペタル操作でエアが出ます)  
E X H (EX) = 排気口
- 3.5 配管の前には管内を十分にフラッシングして、固形物やシールテープ破片などが入らないようにしてください。
- 3.6 故障原因の大半はエア中の異物やドレンです。上流側にエアドライヤやエアフィルタを設置して、目詰まりを防がれることをお勧めします。
- 3.7 取付後 6 ヶ月に 1 度は詳細な機能点検を行い、良好なコンディションを維持してください。
- 3.8 部品洗浄時、金属製の部品についてはシンナーやトリクレンを用いられても差し支えはありませんが、金属製以外の部品については鉱物性の軽油で洗浄してください。又、摺動部に傷が付かないように部品の取扱に注意してください。又、組立時には、摺動部に良質な鉱物性グリースを塗布しておいてください。